

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9587

偉人先人顕彰事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	管理経費	
	その他		
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務	
	その他		
会計・ 予算区分	会計	一般会計	
	款	総務費	
	項	文化スポーツ費	
	目	文化振興費	
	大事業	文化振興事業	
	中事業	偉人先人顕彰事業	

事業種別	単年		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	本市の名を高めた個人を、誇るべき郷土の人物として市民に広く知らしめ、市民のふるさと意識の高揚に資する。		本市の出身者又は本市にゆかりの深い者のうち、近代史及び現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった個人を顕彰し、その功績を紹介する。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	外務省内の陸奥宗光伯の銅像そばにある桜の苗木をいただき、管理し、その苗木を植樹及び配布し、広く氏の功績を顕彰。	外務省内の陸奥宗光伯の銅像そばにある桜の苗木をいただき、管理し、その苗木を植樹及び配布し、広く氏の功績を顕彰。 (平成30年度終了事業)	「和歌山市の偉人・先人」冊子の増刷及び、本市にある偉人・先人ゆかりの地を巡るマップを作製、公開。 また、本市出身の作家津本陽氏を新たに偉人・先人として顕彰。	「和歌山市の偉人・先人」の冊子及び本市にある偉人・先人ゆかりの地を巡るマップの配布を行い、顕彰する。 「偉人・先人コーナー」の改修 高橋克己氏の生誕地に、説明看板等を設置し、顕彰地の整備する。	和歌山市の偉人・先人を顕彰する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	680	680	287	207	440	440	1,116	0	1,116	0	
伸び率(%)	0%	0%	△57.8%	△69.6%	53.3%	112.6%	153.6%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	1,675	0	1,679	5,638	5,638	4,189	0	4,189	0
	正規職員以外	0	432	0	452	662	0	388	0	388	0
	小計	0	2,107	0	2,131	6,300	5,638	4,577	0	4,577	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	680	680	287	207	440	440	1,116	0	1,116	0	
所要人数 (人)	正規職員	0.00	0.21	0.00	0.21	0.70	0.70	0.52	0.00	0.52	0.00
	正規職員以外	0.00	0.19	0.00	0.19	0.29	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
主な予算内訳	印刷製本費440千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
桜の苗木配布応募者数		人	目標値	50	50	0	0	0
			実績値	92	89	0	0	0
			達成度(%)	184%	178%	0%	%	%
各種偉人・先人顕彰事業の実施回数 (冊子や実績看板の製作など)		回	目標値			2	2	2
			実績値			2		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
桜の苗木配布数		本	目標値	5	10	0	0	0
			実績値	5	14	0		
			達成度(%)	100%	140%	0%	%	%
偉人・先人顕彰事業に関する広報の実施回数		回	目標値			2	2	2
			実績値			2		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「和歌山市の偉人・先人」の冊子や偉人・先人ゆかりの地を巡るマップを活用し、今後も引き続き偉人・先人の顕彰を行う。
見直し・改善内容	さらに本市の偉人・先人を広く市民に知ってもらえるよう方法を検討する。